

研究テーマ:CATVコンテンツ流通実験(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2P-A20054)

研究機関: 東北大学サイバーサイエンスセンター、
(財)九州ヒューマンメディア創造センター、(株)データコア

研究の概要:

- CATV各局をJGN2plusにより相互接続し、IPベースでの双方向データ伝送環境を構築して、CATV各局の持つコンテンツの交換・共有を円滑かつ効率的に行う技術を開発する。

研究の目的:

- CATV各局の持つコンテンツの交換・共有について実証的な研究開発を行う。

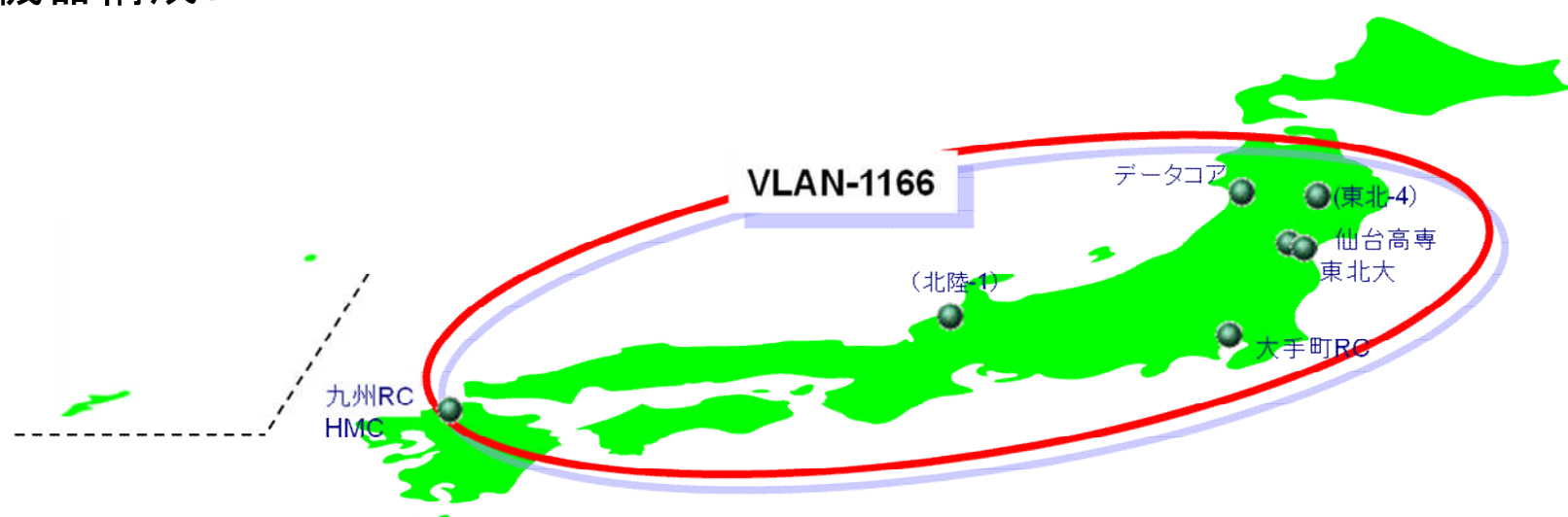
共同研究機関:

- 東北大学サイバーサイエンスセンター(代表機関)
- (財)九州ヒューマンメディア創造センター
- 株式会社データコア

協力:

- 仙台高等専門学校(2009.9まで仙台電波工業高等専門学校)
- J:COM仙台キャベツ(予定), 仙台CAT-V(予定)
- NICT(大手町), NICT(九州) (~2008.12)

実験機器構成:



研究テーマ:CATVコンテンツ流通実験(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2P-A20054)

研究機関: 東北大学サイバーサイエンスセンター、
(財)九州ヒューマンメディア創造センター、(株)データコア

研究分野:

- ビジネスユースに視点をおいた次世代型コンテンツの交換技術の研究開発
- 広域分散環境を指向した地域間映像配信バックボーンアーキテクチャの研究開発

研究開発成果:

- 高品質・高効率な広帯域映像配信を実現するため、アプリケーションレベルでの交換技術について研究を進めた。
- ケーブルテレビ局におけるコンテンツの交換・共有技術の開発とケーブルテレビ相互のコンテンツの流通促進を検討した。

プロジェクトのアピールポイント:

- 研究機関のみならず、CATV局の技術者が参加する、広域分散ネットワーク環境での広帯域コンテンツ流通技術についての実証実験は特筆すべき特徴である
- 九州など遠隔地との実証実験の実施やコンテンツ相互・同時配信、実証実験など、JGN2plusを活用した。
- 研究開発に高専生や大学生を参加させJGN2plusを用いた実験を行うなど実践的な技術者養成(人材育成)を行った。

プロジェクトの自己評価:

- 研究計画に基づき、適切にプロジェクトを進めた。
- 経験や知見を生かし、今後、より一層の利用が促進されることで、映像素材流通などCATV独自のビジネスモデルの形成が期待できる。